

令和2年度 ちゅーりっぷハウス自己評価まとめ

令和3年3月22日

ちゅーりっぷハウスでは、今年度の重点目標としてかかげた以下5つの目標に対して、全スタッフで振り返りをしました。来年度に向け、今年度の反省点を改善しながら保育の質向上に努めていきたいと思えます。

重点目標1、子ども一人ひとりと向き合い、思いを十分に受け止め代弁しながら適切な援助を行う。

具体的な取り組み

- ・子ども一人ひとりの成長を日々観察し、どこまで援助すべきか判断し時間をかけながらもできた喜びが感じられるよう配慮した。
- ・一人ひとりの子どもを理解するために、一人の子どもを重点的に遊んだり注目する日や時間を設けたりした。

改善点

- ・子ども一人ひとりと向き合ったが、適切な援助をするには全保育者が同じ思いで統一した援助を心がけていく。
- ・子どもの思いを受け止めながらも、保育者の思いも伝えていくなかで信頼関係を深めていく。

重点目標2、子どもが主体となる「楽しい」「やってみたい」と思う保育内容に取り組み、自立心を育てる。

具体的な取り組み

- ・保育者自身が楽しみながら、子どもと同じ目線で楽しんだ。
- ・今年度は感触遊びを重点に置くことで、触れたことがないものに触れることで言葉や気持ちの成長につなげることができた。

改善点

- ・子どもが「楽しい」「また、やりたい」と発した内容は、今興味を抱いていることを理解したうえで発展させていく。
- ・子どもの意欲を引き出す声かけを通して、保育内容を充実させる。

重点目標3、保育者の専門性を生かしながら、保護者との信頼関係を築く。

具体的な取り組み

- ・保護者の悩みに対して、全て保育者の思いで答えるのではなく保護者の方とも一緒に考え解決していくようにした。
- ・個人面談では、保育の様子を動画で見せながら日々の様子や入園してから成長した部分を詳しく話すことができた。

改善点

- ・保護者の悩みや質問に対しては、すぐに対応し保護者の思いに寄り添いながら言葉をかけていく。
- ・園での姿を見る機会がないのでブログ、写真、動画配信などを行っていく。

重点目標4、身近な食材に触れたり、栽培したりすることで食材に興味を持ち食べることを楽しむ。

具体的な取り組み

- ・調理員も含めた会議を週に一度行い、食育に関するアイデアを出し実行に移した。
- ・今まで栽培したことがない野菜を栽培し、様々な野菜を身近に感じられるようにした。

改善点

- ・栽培、収穫、食べるまでの育ちの連続性を踏まえた保育内容を設定する。
- ・調理員も保護者からの食の悩みなどに対して回答することで、全スタッフで一人ひとりの子どもの成長を見守る。

重点目標5、臨機応変に対応できる力を身につけ、危機管理を徹底する。

具体的な取り組み

- ・全スタッフで避難訓練、救急対応訓練を行い振り返りの中で反省点を次回に生かした。
- ・常に危険を予測しながら、周囲の状況を把握し保育者と声を掛けながら保育を行った。

改善点

- ・ヒアリハットを事例を共有しながら、事故防止を徹底する。
- ・系列園と連携し、協力・応援をし合いながら事故、災害などに備える。

令和3年度重点目標

- 1、子ども一人ひとりの成長過程に合う援助を全スタッフで話し合い、共有しながら対応する。
- 2、子どもの興味関心に合わせた保育を行う。
- 3、保護者と共に子どもの成長にとって何が一番良いかを考え、保護者が自ら子育てをする力を引き出す。
- 4、栽培、飼育体験を通して育つ喜びと命の大切さを学ぶ。
- 5、子どもの行動を把握し常に危険を予測しながら、子どもの安全を守る。